



今日の表紙  
日光和楽踊り



8月2日(金)、清滝地区の古河電気工業株式会社日光事業所で、日光和楽踊りが開催されました。

今年で100周年を迎えたこのイベントは、大正天皇と貞明皇后が日光精銅所を訪問したことを記念して始まりました。

当日は、フラダンスや地元ダンスチームによるパフォーマンス、沖縄民謡のコンサートなどが披露され、会場は大いに盛り上がりました。

午後7時になるとサイレンが鳴り、電飾が一斉にライトアップされて、お囃子の演奏が始まりました。お囃子に合わせて、たくさんの踊り手たちが、手踊りや笠踊りなどを始め、会場は熱気に包まれました。

千葉県市原市から来た山崎さんは、「古河電工のOB会で来ました。前回よりも人が多く、にぎやかで楽しいです」と笑顔で話してくれました。



扇の的弓道大会

8月4日(日)、中禅寺湖畔で扇の的弓道大会が開催されました。この大会は那須野一が源平合戦屋島の戦いで、「南無八幡大菩薩別けても日光二荒山大神願わくばあの扇を射させたまえ」と祈念しながら、馬上より波に揺られる小舟に立てられた扇を射落としたという故事に由来し、今回で52回



目の開催となりました。一日の参加者数が全国で最も多く、この日も約1,800名が参加し、湖上に浮かぶ扇の的に目掛けて次々と矢を放ちました。大田原市から参加した中学2年生の國嶋さんは、「試行錯誤しましたが、残念ながら外してしまいました。でも、自然の中でとても気持ち良かった。来年も参加します」と答えてくれました。



杉並木マラソン

8月4日(日)、日光杉並木マラソン大会が開催されました。コースは例幣使街道内に設定された例幣使コース(10km)、十石坂コース(5km)、鷹の巣コース(3km)の3コース。参加者は約2,900名で、年齢と性別に分けられた部門別に競い合いました。また、今年も観光友好都市の大



韓民国慶州市から選手が参加し、スポーツを通して友好を深めました。3km小学生の部に参加した鷹箸紗英ちゃん、沼尾健太郎くんは、「前回よりもタイムが縮まってうれしかった」、「疲れたけど入賞できてうれしかった」と誇らしそうに胸を張っていました。

湯西川温泉夏休み  
サマーサッカーフェスティバル



7月23日(火)~8月22日(木)に、西川運動場サッカー場で、今年で2回目となる湯西川温泉夏休みサマーサッカーフェスティバル2013が開催されました。

今年は小学3年~6年生の各学年を対象にした4大会となり、皮切りとなる7月23日(火)~25日(木)にかけては、4年生を対象としたU-10の部が行われました。

U-10の部には、関東各地から12チームが参加し、3日間にわたり総当たり戦で試合をしました。

その結果、優勝はエスタジオ横浜V、準優勝はYSCCで、ともに横浜市のクラブチームでした。

エスタジオ横浜Vのキャプテン箕尾翼くん(9歳)は、「優勝できて、とてもうれしいです。将来の夢はマンチェスター・ユナイテッドFCに入団して活躍することです」と、元気よく話してくれました。



H.C. 栃木日光アイスバックスイベント

7月13日(土)、H.C. 栃木日光アイスバックス(以下バックス)と、NPO法人足尾に緑を育てる会による子どもを対象とした交流・植樹イベントが、足尾地域で行われました。

足尾小学校の体育館に集まった子どもたちは、今シーズンからバックスに新加入する牛来選手と今野選手と共に、室内ホッケーのユニホックで汗を流しました。



その後、植樹会場の松木地区に移動し、40本の苗木を植えました。それぞれの兄弟と一緒にイベントに参加した足尾小学校の1年生、神山然くん(足尾町砂畑)と田中秀くん(足尾町松原)は、「みんなで植えた木が大きくなって欲しい。またやりたい!」(神山くん)「掘るのが大変だったけど、面白かった!」(田中くん)と笑顔でイベントを楽しんでいました。

龍王祭

鬼怒川・川治温泉の夏の風物詩である龍王祭が、7月26日(金)~28日(日)の3日間開催されました。26・27日は鬼怒川温泉、27・28日は川治温泉を会場にそれぞれ行われ、会場は多くの参加者や観光客でにぎわいました。

本祭に先立ち、26日の午前中には龍王峡の五龍王神社で神事が行われ、龍王太鼓が奉納されました。鬼怒川温泉会場では、鬼怒川囃



子や龍王太鼓の演奏、歌謡ステージ、レーザー光による「ドラゴンイリュージョン」、万燈神輿や女神輿の渡御などが行われました。中でも、5年ぶりに復活した女神輿2基が登場すると、会場は大いに沸き上がりました。女神輿を担いだ小林さん(宇都宮市)は、「初めて参加しました。団結感があってとても楽しかったです。汗もいっぱいかきました。また参加したいです」と、満面の笑みを見せてくれました。

# クロースアップ 日光人



ふくだ 福田 智久山さん 荊沢 在住

平成24年12月に行われた、国内最大の尺八流派、都山流の東京会場での師範試験で、首席合格した尺八奏者の福田智久山さんを紹介いたします。



演奏中の福田さん

「最初は尺八への興味も薄く軽い気持ちで始めましたが、何気なく聴いた師匠のレコードに収録されていた老越という曲に衝撃を受けました。そこで、自分で吹いたところ音が出ず、練習を重ねるうちにのめり込んでいきました」と

話す福田さん。過去に長いスランプに陥り、毎日8時間の練習を重ねても吹けずに行き詰まったこともあったそうです。「さまざまなかから脱力して吹くようにとのアドバイスを受けましたが、本当の意味での脱力、力を抜くことではなく、抜く力を覚えることを理解するのに3年かかりました」と当時を振り返ります。そのとき感じたことが「続けることが重要、右肩上がりには時間だけです。尺八に限らず、すべての努力という山は一緒、まずは努力して、困難があつて、達成感を得られる。その循環だと思えます」。

紹介したい人、サークルを募集しています！  
クロースアップ日光人では、活躍している人、サークルを紹介しています。このコーナーで紹介したい人やサークルの情報がありましたら、ぜひお寄せください。なお、自薦、他薦は問いません。  
※掲載にふさわしくない活動内容が含まれている場合、紹介をお断りすることがあります。  
連絡先及びくわしくは  
秘書広報課 広報広聴係  
☎(21)51335

## まちな ほっと NEWS



**全国訪問おはなし隊** 6/16 今市  
「本とあそぼう全国訪問おはなし隊」が、今市図書館にやって来ました。  
緑色のかわいらしいキャラバンカーの中は、子どもたちの大好きな絵本でいっぱいでした。梅雨の合間の青空の下に広げたシートの上で読書をした後、絵本や紙芝居の読み聞かせをうれしそうに聞いていました。



文・写真：今市図書館

**中学生テニス教室** 6/29 日光  
丸山公園テニスコートで、公共施設振興公社主催の、中学生テニス教室を行いました。  
全日本選手権大会ダブルスチャンピオンの小林幸司氏を講師に招き、12名の中学生にサーブやバックハンドの打ち方を丁寧に指導してもらいました。参加者は積極的に質問し貴重な体験を得ることができました。



文・写真：公共施設振興公社

**優良建設業者表彰式** 7/12 今市  
市が発注した建設工事を、平成24年度に優秀な成績で完成させた建設業者13社を表彰しました。建設業者の技術の向上と建設工事の適切な施工を推進するため、毎年実施しています。  
また、表彰式後には、工事に携わる企業などを対象にした、「ヒューマンエラー」による労働災害の防止について、の研修を行いました。



文・写真：管財契約課

**高校生選挙事務体験事業** 7/14  
今年で2回目となる、高校生選挙事務体験事業を行いました。  
今市高等学校や今市工業高等学校、日光明峰高等学校の学生、計9名がガイオン今市店の店頭で選挙啓発活動を体験しました。  
買い物客にシヤボン玉やポケッティシユ、冷却パックなどを配りながら、投票を呼び掛けました。



文・写真：選挙管理委員会事務局

**子どもいきいきコンサート** 7/20 今市  
第63回社会を明るくする運動の啓発事業として、今市文化会館で子どもいきいきコンサートを開催し、約1,200人が来場しました。  
特別ゲストには、作曲家の船村徹氏を迎え、市内の保育園や小中学校の子どもたちが、踊りや太鼓、体操、吹奏楽など、日頃の練習の成果を元気に披露してくれました。



文・写真：子どもいきいきコンサート実行委員会

**歩きたくなるまちづくり委員会** 6/27 7/25  
今市の市街地の魅力を再発見するとともに、「歩きたくなるまち」のマップ作成などの活動を有志と共に展開している委員会を開催しています。  
初回は、「まちづくり」にフワフワしちゃうプチ講演会」、2回目は「歩きたくなるまちづくり委員会」を強化し、開催して、まちの楽しさづくりに取り組みます。



文・写真：まちづくり推進課

**身近なニュースを募集しています!!**  
まちなほっとニュースでは、皆さんから記事の投稿を募集しています。  
**募集する記事** 自治会の催しや、地域のちよっと珍しい出来事、心温まるエピソードなど  
※内容によっては掲載できない場合があります。  
**応募方法** 記事に写真を添え、住所・氏名・電話番号を明記の上、持参または郵送、メールでご応募ください。  
○記事：140字程度(題名、日付、場所を別に記載してください)  
○写真：紙焼きしたもの・デジタルデータどちらでも可能です。ただし、携帯電話のカメラで撮ったものなど、大きくした際に画像が荒れてしまうもの不可とします。  
**あて先** 〒321-1292 今市本町1番地 日光市役所 企画部 秘書広報課 広報広聴係  
**メール** hishokouhou@city.nikko.lg.jp